

教草女房形氣

山東京山著

卷九



~ 13
3580
9



13
3580
9

文榮堂發兌房書目

考槃餘事

明屠赤水著
東溪源謙校

白紙摺明朝綴
帙入全四冊

題畫詩選

岡崎廬門著

全三冊

書畫皆宜

美疑氏撰輯

題畫詩刪

森川竹息著

書舖

浪華心齋鐵懸橋比第五街

前川游七郎

大學
全社立全二冊
122
3
蔵

四十六



かのまのつづふ大馬の敷をかきわてあやう九くの妻小
 馬の素顔返哺の孝にまられて膝ひを死せんと
 して家山兼大城食ふ求衣衣をかきわて寒とけま
 ち輕羅をまきこひて暑をまきまき身の程よ於てま
 足ざるあやうさまの心入織て衣と一茶を耕して食つて
 謂ふある玉勅が比舎る住まざること下るの横好書
 西貝の催促はもと辭しがう彼も棄ててあやうも
 下る女房形氣の九編を作りそを催促よとよみ

嘉永三年

乙酉之春稿本
同晚秋上梓庚戌

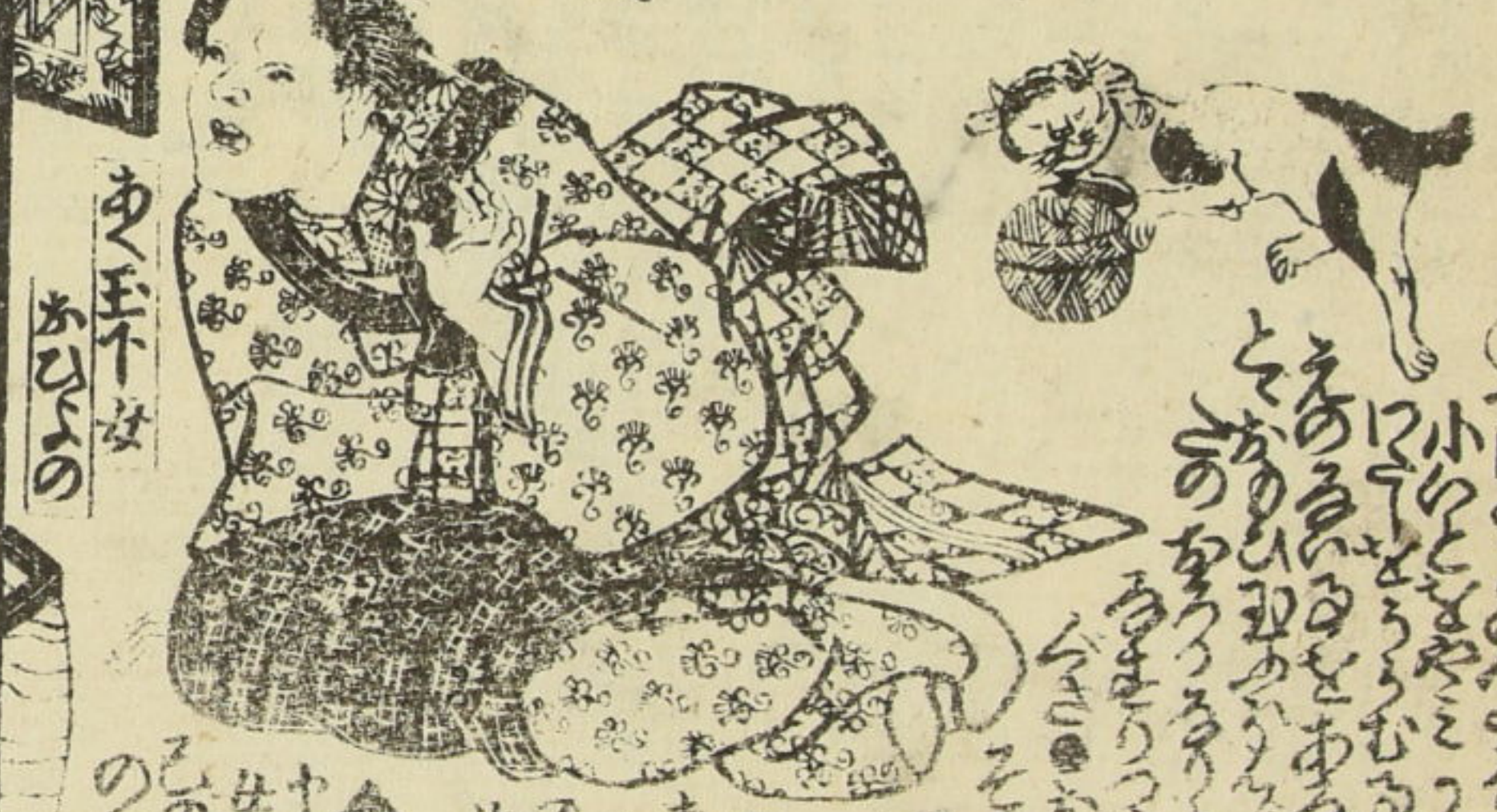
時年十一月
新販 山東翁京山



△おのゝあはれうらなるとのな
かひよの小いひさうむけなり

二巻

あひよのあはれうらなるとのな
かひよの小いひさうむけなり
あひよのあはれうらなるとのな
かひよの小いひさうむけなり
あひよのあはれうらなるとのな
かひよの小いひさうむけなり
あひよのあはれうらなるとのな
かひよの小いひさうむけなり



あひよのあはれうらなるとのな
かひよの小いひさうむけなり
あひよのあはれうらなるとのな
かひよの小いひさうむけなり

あひよのあはれうらなるとのな
かひよの小いひさうむけなり
あひよのあはれうらなるとのな
かひよの小いひさうむけなり



あひよのあはれうらなるとのな
かひよの小いひさうむけなり
あひよのあはれうらなるとのな
かひよの小いひさうむけなり

あひよのあはれうらなるとのな

あひよのあはれうらなるとのな



三つのはち
 名のきり
 とまらうへ
 とまらうへ
 由る作者
 とまらうへ
 とまらうへ
 とまらうへ
 とまらうへ

かそけあ
 目の後
 のう方
 名と人
 小の角
 あんふ

三股

① 小
 りの
 らる
 下
 小
 それ

あんふ

四股

④ あんふ
 の
 下
 の
 小
 二
 か
 ろ
 ら
 の
 の
 の
 の



①
 小
 の
 の
 の
 の
 の
 の
 の

あんふ

あんふ

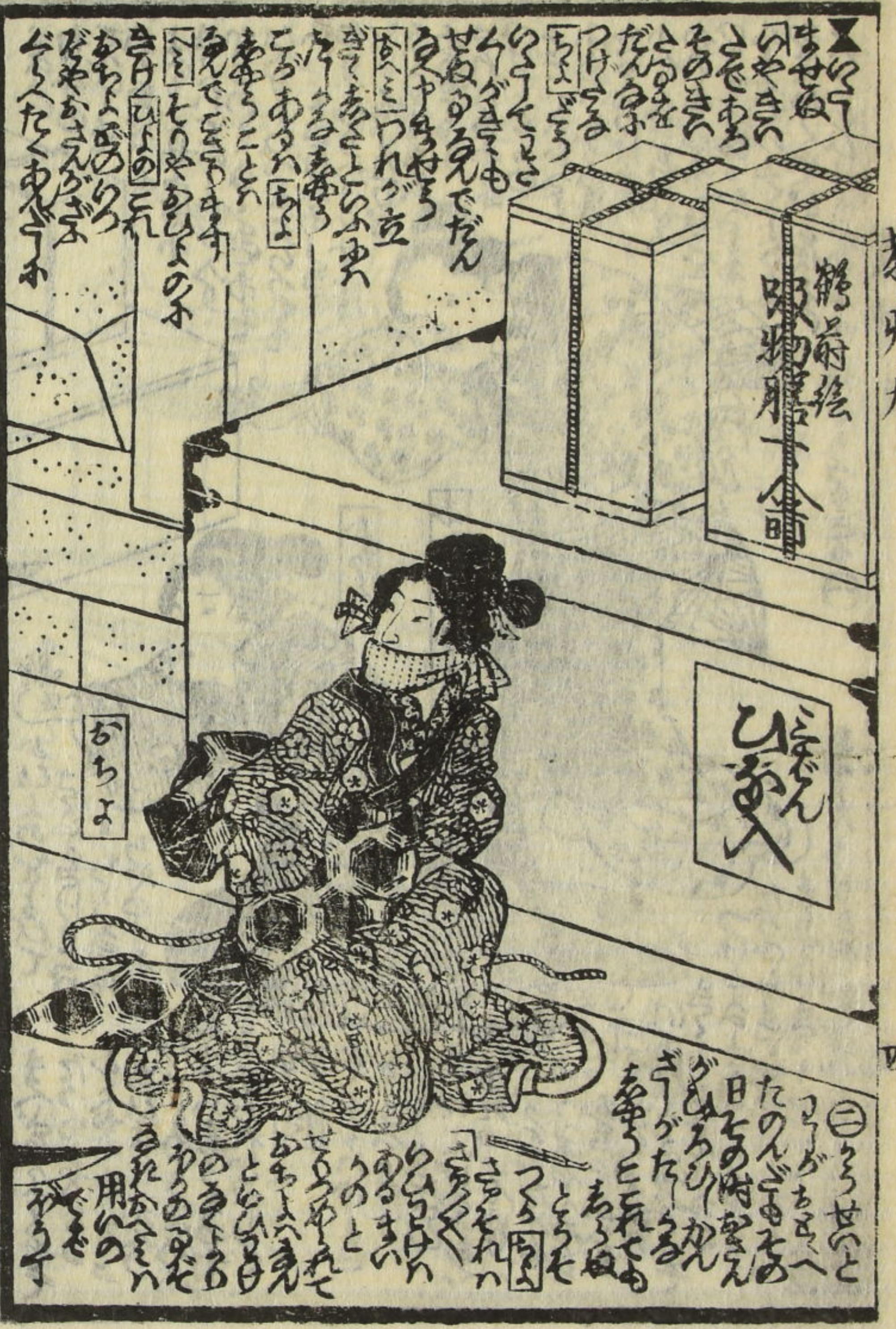
あんふ

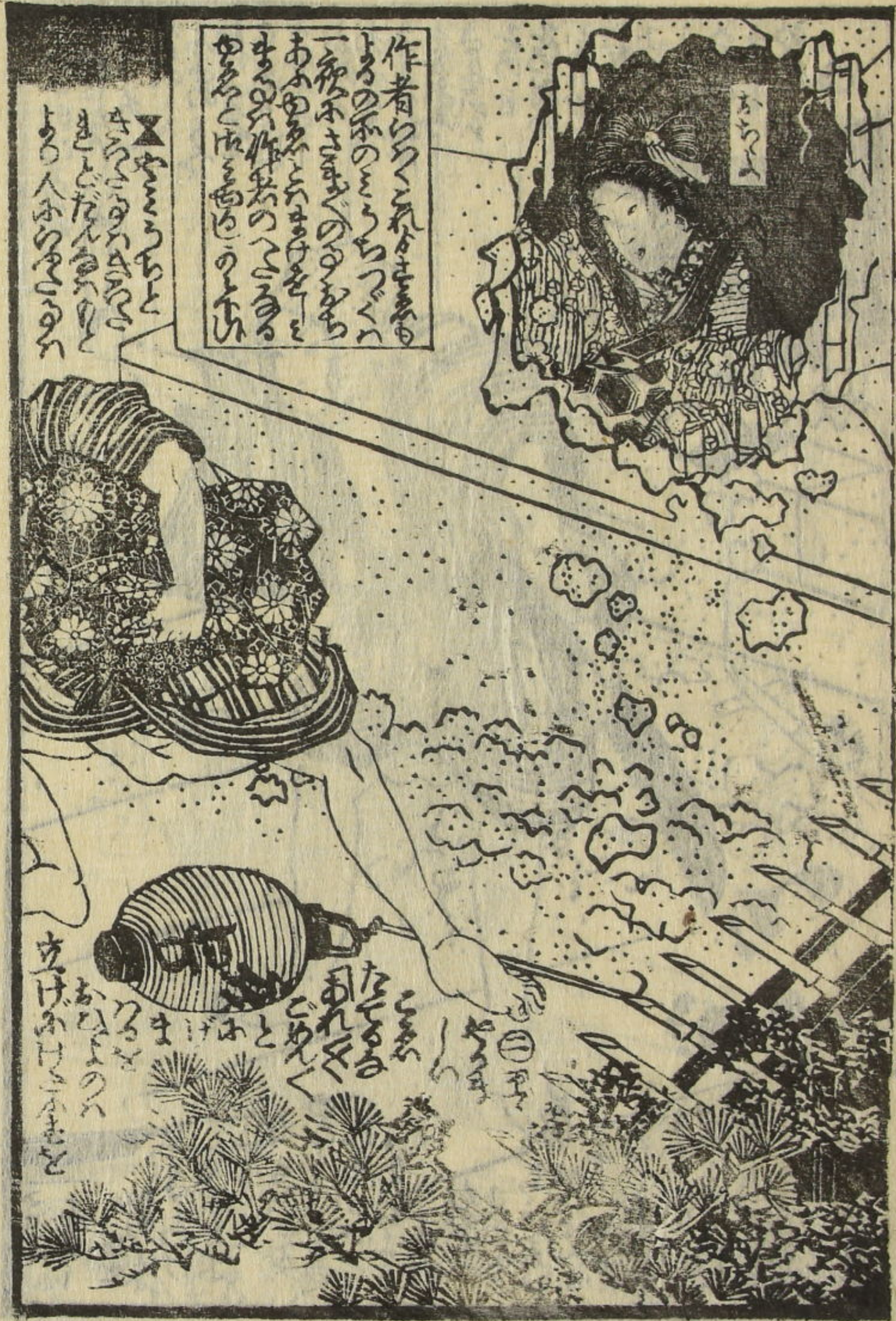
②
 の
 の
 の
 の

四股

④
 の
 の
 の
 の
 の
 の
 の
 の
 の

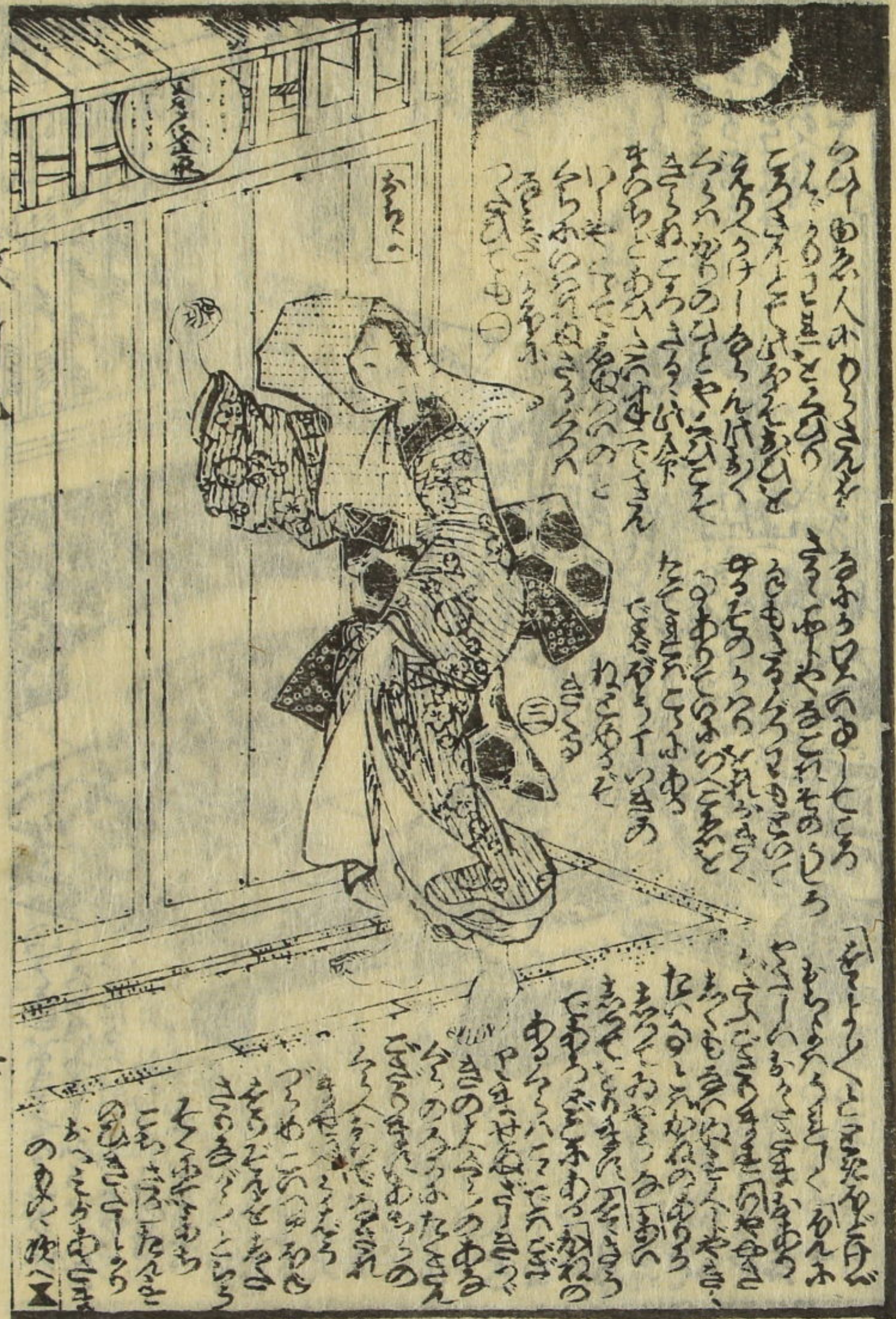
あんふ





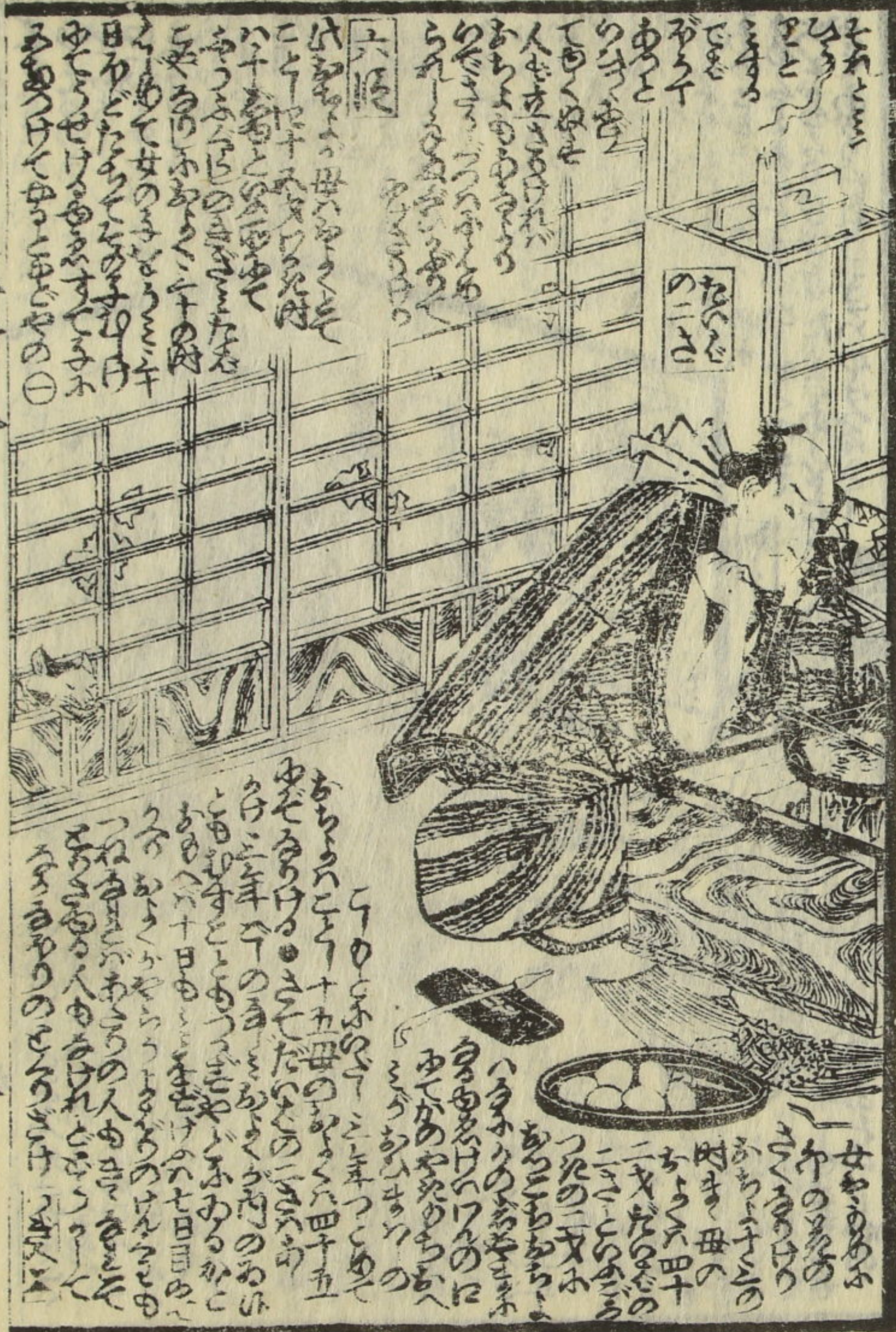
精進料理

五



五
州
州
州

五



六
 けりて母のやうな
 ことにはなすは
 けりて母のやうな
 ことにはなすは
 けりて母のやうな
 ことにはなすは
 けりて母のやうな
 ことにはなすは

女
 けりて母のやうな
 ことにはなすは
 けりて母のやうな
 ことにはなすは
 けりて母のやうな
 ことにはなすは
 けりて母のやうな
 ことにはなすは



七
 けりて母のやうな
 ことにはなすは
 けりて母のやうな
 ことにはなすは
 けりて母のやうな
 ことにはなすは
 けりて母のやうな
 ことにはなすは

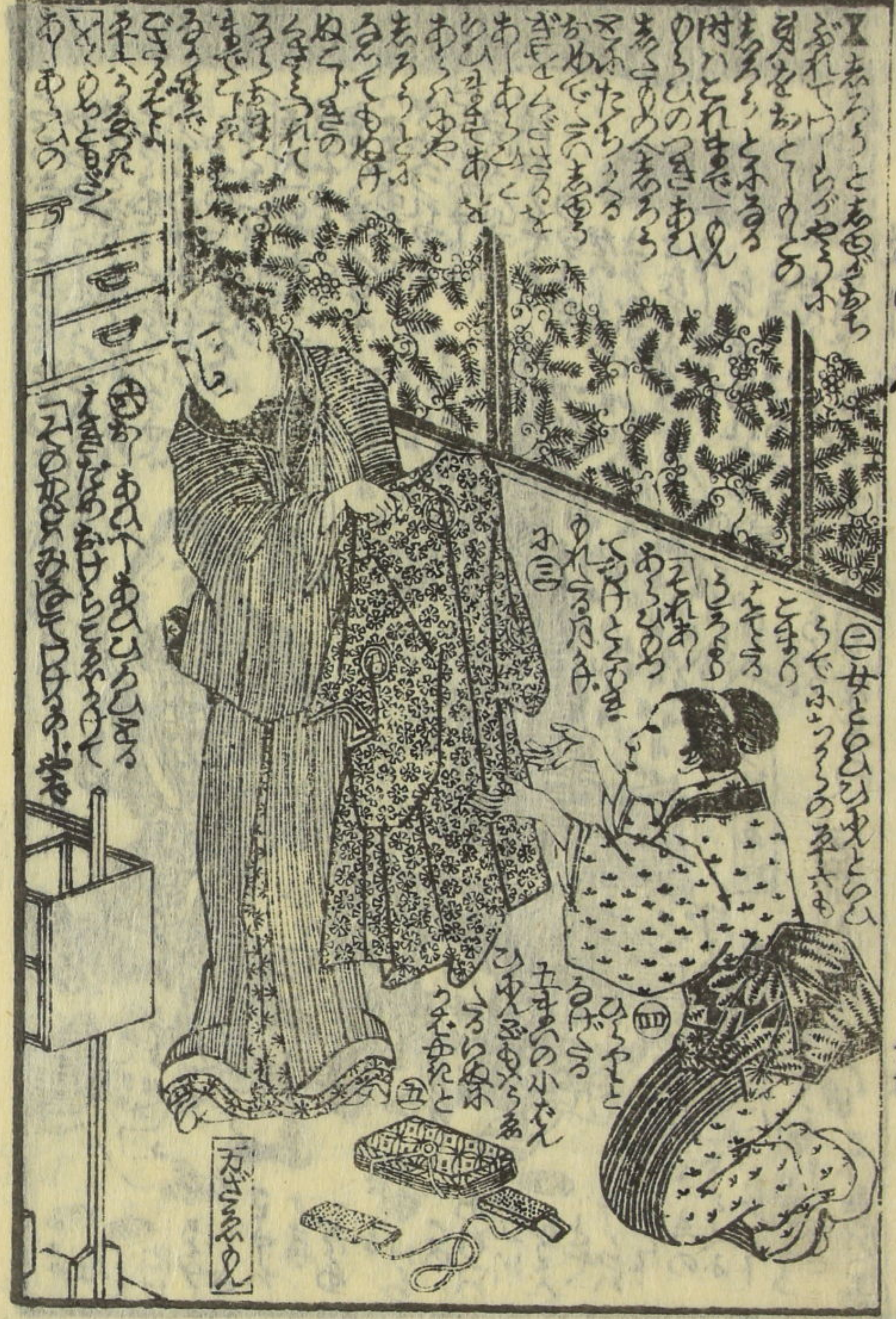
女
 けりて母のやうな
 ことにはなすは
 けりて母のやうな
 ことにはなすは
 けりて母のやうな
 ことにはなすは
 けりて母のやうな
 ことにはなすは











軍機處
印
卷之五
詩眼源類

詩眼源類